

議 事 録

会議名	令和5年度第1回寒川町地域福祉計画推進会議
開催日時	令和5年11月17日（金）13時～14時50分
開催場所	寒川町役場 東分庁舎2階 第2会議室
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<ul style="list-style-type: none"> ・出席者委員 山本正司委員（会長）、横山大樹委員（副会長）、徳澤小次郎委員、飛田尚慶委員、三留当美代委員、天尾隆子委員、渡部昭二委員、中村綾乃委員、小川原寿恵委員、関野淳委員、枝光悦子委員、小澤宏史委員、望月真里子委員 ・事務局 町健康福祉部 三橋健康福祉部長 福祉課 中澤福祉課長、柏木主査 町社会福祉協議会 稲葉事務局長、土屋主任主事 ・欠席者 森一光委員、江藤恵子委員、木藤剛委員、上田泰成委員 ・傍聴者 なし
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長の選出について ・寒川町みんなの地域福祉つながりプランの令和4年度実績報告について ・寒川町地域福祉計画・寒川町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定に関する町民アンケート（案）について
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・会長 山本正司委員、副会長 横山大樹委員
公開又は非公開の別	公開
議事の経過	<p>1 開会</p> <p>会長及び副会長選出まで事務局が議事進行を行う</p> <p>2 福祉課長あいさつ</p> <p>福祉課長よりあいさつ</p> <p>3 委嘱状の交付</p>

令和5年6月1日より委員となった委員へ委嘱状の交付

4 自己紹介

委員及び事務局の自己紹介

5 議題

(1) 会長、副会長の選出について

(事務局 柏木)

寒川町地域福祉計画推進会議設置要綱第5条第2項に基づき、会長は委員の互選とするため、意見等あるか。

意見なしのため、事務局推薦の山本委員にお願いしてよろしいか。

(山本委員)

承知した。

(事務局 柏木)

寒川町地域福祉計画推進会議設置要綱第5条第2項に基づき、副会長は会長が指名するため、会長は副会長の指名をお願いする。

(山本委員)

横山委員にお願いしたい。

(横山委員)

承知した。

(事務局 柏木)

寒川町地域福祉計画推進会議設置要綱第5条第3項に基づき、以後の議事進行を山本会長にお願いする。

(山本委員)

寒川町審議会等の会議の公開に関する規則第8条第2項に基づき、議事録承認委員として、横山委員と飛田委員を指名する。

(2) 寒川町みんなの地域福祉つながりプランの令和4年度実績報告について

(山本委員)

実績報告について、事務局より説明をお願いする。

資料1、2の説明

資料2 1ページ目 基本目標1-①の補足説明

(事務局 柏木)

④通いの場合は令和4年11月から町内5か所の公園で月曜日から金曜日に行い、曜日ごとに異なる公園でラジオ体操を実施した。審議会とは、寒川町生活支援介護予防サービス基盤整備推進会議のこと。

(事務局 土屋)

①②③社会福祉協議会とは、地域福祉の推進を目的としている団体。個別支援(直接支援)と地域支援(地域の担い手への支援)の二つを軸に推進している。

ボランティアセンターは、地域の担い手が活動する事業。おもちゃ病院等のイベントを定期的に行った。

(事務局 柏木)

総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。

2 ページ目 基本目標 1-②の補足説明

(事務局 柏木)

①寒川町シニアげんきポイント事業とは、介護予防の推進を図るもの。奉仕活動の支援を行い、実績に応じてポイントを付与。貯めたポイントは寒川町共通商品券に交換できる。令和4年度末の実績は、登録者数80件、受入施設9件。元気はっけん広場の開催数について、集合・対面形式での開催数は96回、参加者数は延べ2,395名。在宅版での開催数は12回、参加者数は延べ111名。

(事務局 土屋)

③ふれあい福祉フェスティバルは例年屋外で行っていたが、今年度は室内での開催になった。

(事務局 柏木)

総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。

3 ページ目 基本目標 1-③の補足説明

(事務局 柏木)

③前年度における認知症サポーター養成講座の参加者数は252名、ステップアップ講座の参加者数は39名であったので、大幅な増加となった。

(事務局 土屋)

②昨年度の福祉作文コンクール応募数は639件。

(事務局 柏木)

総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。

基本目標1について、意見等はあるか。

(小川原委員)

福祉大会においては、福祉団体協議会の活動紹介や作品展示を行ったので、記載していただきたい。令和4年度から実施している。

(事務局 土屋)

該当箇所へ記載する。

(小川原委員)

ボランティアを安価なサービスだと思われる依頼があると記載があったので、事例を教えていただきたい。

(事務局 土屋)

交通費程度の報酬で行っているため、安価に行えるサービスだと思われる方がいる。あくまでもボランティアであることを理解していただけるよう、努め

ている。

(事務局 稲葉事務局長)

福祉有償運送では、ご自身で病院へ通えない方を対象にしているが、タクシー運賃より安いからと利用している方がいる。草むしりでも、シルバー人材センターより安いからと利用している方がいる。

(関野委員)

コロナ禍以前は中学生が福祉事業所へ訪問されていたが、今後の状況を教えていただきたい。

(事務局 稲葉事務局長)

今後は発展していきたい。

(小川原委員)

公共施設再編計画が白紙になったが、今後の対応を教えていただきたい。

(事務局 柏木)

検討段階であり、お示しできる内容がない。

(小川原委員)

健康管理センターの老朽化が進んでいるため、検討していただきたい。

(事務局 柏木)

指定管理者制度を導入しており、担当課が必要な修繕は行っているものと認識している。

4 ページ目 基本目標 2-①の補足説明

(事務局 柏木)

相談支援事業所とは、障がい者等が居宅において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、生活全般の相談やサービス利用計画の作成を行う機関である。町広報誌では、精神保健福祉士、手話通訳者や就労相談の紹介をした。

(事務局 土屋)

心配事相談事業を実施している。

(事務局 柏木)

総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。

5 ページ目 基本目標 2-②の補足説明

(事務局 土屋)

SNSの活用は上手くできていないため、課題である。

総合評価は、計画以上の効果が表れているとし、今後の方向性は、継続とした。

6 ページ目 基本目標 2-③の補足説明

(事務局 柏木)

①外部講師を招いて、民生委員に対する研修を実施した。

(事務局 土屋)

	<p>サポート寒川とは、草むしり等お手伝いを行っている事業である。</p> <p>(事務局 柏木)</p> <p>総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。 基本目標2について、意見等はあるか。</p> <p>(天尾委員)</p> <p>コロナ特例生活福祉資金の貸付等の相談があると思うが、具体的な内容を教えていただきたい。</p> <p>(事務局 稲葉事務局長)</p> <p>家計相談、返済計画、家賃の相談等。</p> <p>(天尾委員)</p> <p>基本目標2-②について、評価と理由の整合性がないのではないかと。 基本目標2-③について、保護司の活動成果を載せられないのか。</p> <p>(事務局 中澤課長)</p> <p>保護司との連携について、記載することを検討します。</p> <p>7ページ目 基本目標3-①の補足説明</p> <p>(事務局 柏木)</p> <p>①認知症初期集中支援チームとは、認知症やその疑いがある方及び家族を訪問し、相談を行う専門家チームである。</p> <p>③地域ケア会議とは、地域課題を解決するために行われている。</p> <p>⑤SOSネットワーク事業の昨年度の登録者数は14件であったため、増加した。</p> <p>⑥地域生活支援拠点とは、親なき後に備えて障がい者等の生活を支える体制のことで、登録数は3か所。緊急時支援プランとは、在宅障がい児者の緊急時における情報共有を円滑に行うためのプランで、登録者数は6名。</p> <p>(事務局 土屋)</p> <p>④コロナ特例生活福祉資金の総額は約5億1,200万円。コロナ特例緊急小口資金は約600件、コロナ特例総合支援資金は約740件。</p> <p>8ページ目 基本目標3-②の補足説明</p> <p>(事務局 土屋)</p> <p>①社協はボランティア連絡協議会の事務局である。12団体ある。 総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。</p> <p>9ページ目 基本目標3-③の補足説明</p> <p>(事務局 柏木)</p> <p>特になし。</p> <p>10ページ目 基本目標3-④の補足説明</p> <p>(事務局 柏木)</p>
--	---

②独居高齢者訪問事業とは、70歳以上の一人暮らし高齢者宅へ地域包括支援センター職員が訪問するもので、実績は1,298件。

総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。

11 ページ目 基本目標3-⑤の補足説明

(事務局 土屋)

①ICT活用の可能性を検討している。

(事務局 柏木)

総合評価は、おおむね計画通りとし、今後の方向性は、継続とした。

(山本委員)

基本目標3について、意見等はあるか。

(小川原委員)

SOSネットワーク事業の登録事業所を教えてください。

(事務局 中澤課長)

障がい者相談支援事業所ゆいっと、さむかわ基幹相談支援センター、湘南希望の郷であり、今後も拡大したいと考えている。

(関野委員)

福祉避難所の設置について、今後の展望を教えてください。

(事務局 中澤課長)

町内にある施設では、現状難しい状況である。障がい者や高齢者の施設と災害時の応援協定を結んでいるので、今後も働きかけをしていく。ある高齢者施設に一部一般利用できるスペースがあるので、災害時に使用できるか調整中。

(望月委員)

避難行動要支援者きずなプランについて、災害派遣福祉チームDWA Tに地域特性や動きをお伝えできるよう準備をしていただければと思う。

(事務局 柏木)

念頭に置いて事業を進めたい。個別避難計画の策定や個別支援プランの作成に至っていない方への働きかけをしていかなければならないと考えている。

(山本委員)

全体を通して、意見等はあるか。

特になかったので、次の議題へ移る

(3) 寒川町地域福祉計画・寒川町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定に関する町民アンケート(案)について

(山本委員)

アンケートについて、事務局より説明をお願いします。

資料3の説明

(事務局 柏木)

来年度に控えた計画策定のためのアンケートになる。寒川町在住の方の中から、18歳以上の方、1,200名を対象にして行う。前回アンケートの回収率が35.2%のため、統計的に有意となる400名の回収を見込んで設定した。相模原市や横浜市のアンケートを参考に作成した。成年後見制度利用促進計画、地方再犯防止推進計画、重層的支援体制整備事業実施計画を盛り込むべく、大設問5、6番を設定した。紙及び電子媒体でのアンケートを予定している。

(山本委員)

意見等はあるか。

他市町村を参考にした部分と過去のアンケートとの相違点を教えていただきたい。

(事務局 柏木)

比較的最近実施していた相模原市のアンケートを中心に、横浜市南区のアンケートも一部参考とした。性別を現代に合わせた選択肢にした。年代や居住年数等の選択肢を増やした。大設問2以降は大幅に変えている。

(徳澤委員)

個人の健康や心身に関わる設問が少ないと思う。チャレンジすることに関する問いがない。

(事務局 中澤課長)

設問数との兼ね合いもあるが、検討する。

(望月委員)

同規模市町村のアンケートや過去のアンケートなどと比較するのであれば、文言を変更しないことを検討した方がいいのではないか。

(事務局 中澤課長)

アンケートを有効活用するために検討したいと思う。

(小川原委員)

大設問5、6のワードに対して説明文を追加した方がよいのではないか。

(事務局 中澤課長)

可能な範囲で対応する。

(天尾委員)

注釈を追加した方がよいのではないか。

問28の「矯正施設を出所した後、」など、削除しても伝わるのではないか。

問29について、選択肢に「保護司」や「協力雇用主」を明示してはどうか。

(事務局 柏木)

可能な限り対応する。

(小川原委員)

問8の「相談できる相手がいない」は、「いない」でよいのではないか。

	<p>(事務局 中澤課長) 修正する。</p> <p>(山本委員) 今日の意見等を踏まえ、校正していただければと思う。 議題は以上となるが、その他に意見等はあるか。</p> <p>(事務局 柏木) 本日の意見等を踏まえた検討のうえ、必要に応じた修正をし、12月を目途に皆様へ修正版を郵送し、1月にアンケートを実施するスケジュールとしてよいか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p> <p>6 その他 次回会議日程調整</p> <p>7 閉会 横山副会長より閉会のあいさつ</p>
配付資料	<p>次第</p> <p>資料1 寒川町地域福祉計画推進会議について</p> <p>資料2 寒川町みんなの地域福祉つながりプラン（第4次寒川町地域福祉計画・第5次寒川町社会福祉協議会地域福祉活動計画）【令和4年度進行管理表】</p> <p>資料3 寒川町地域福祉計画・寒川町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定に関する町民アンケート（案）</p> <p>参考資料1 寒川町地域福祉計画推進会議設置要綱</p> <p>参考資料2 寒川町地域福祉計画推進会議委員名簿</p>
議事録承認委員	<p>横山 大樹委員・飛田 尚慶委員 (令和 5年 12月 20日確定)</p>